

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【公開番号】特開 2015-142037 (P2015-142037A)

【公開日】平成 27 年 8 月 3 日 (2015.8.3)

【年通号数】公開・登録公報 2015-049

【出願番号】特願 2014-14541 (P2014-14541)

【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 7 F 5/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B 33/22 B

H 0 5 B 33/14 A

C 0 7 F 5/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 20 日 (2017.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

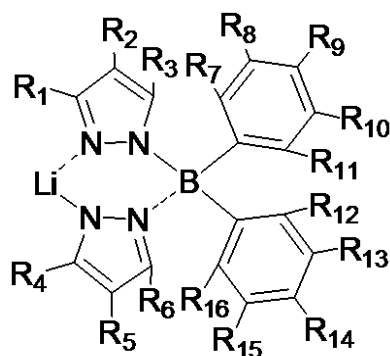
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一対の電極と、前記一対の電極の間に配置されている有機化合物層とを有する有機発光素子であって、

前記有機化合物層のうち少なくとも一層は、下記一般式 [1] で示されるリチウム錯体化合物を含有することを特徴とする有機発光素子。

【化 1】



[1]

〔式 [1] において、 R_1 乃至 R_{16} はそれぞれ水素原子、ハロゲン原子、シアノ基、フッ素置換されていても良いアルキル基、フッ素置換されていても良いアルコキシ基、置換あるいは無置換のアリール基からそれぞれ独立に選ばれる。〕

【請求項 2】

前記一般式 [1] で示されるリチウム錯体化合物を含有する層は、前記一対の電極のうちの一方と接することを特徴とする請求項 1 に記載の有機発光素子。

【請求項 3】

前記一般式 [1] で示されるリチウム錯体化合物を含有する層が、陰極と接する層であ

ることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の有機発光素子。

【請求項 4】

前記一般式 [1] で示されるリチウム錯体化合物を含有する層が、電子注入層または電子輸送層であることを特徴とする請求項 3 に記載の有機発光素子。

【請求項 5】

前記一般式 [1] で示されるリチウム錯体化合物を含有する層は、前記有機化合物層のうちの発光層と接しない層であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の有機発光素子。

【請求項 6】

R_1 乃至 R_6 は水素原子であることを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の有機発光素子。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載の有機発光素子と、前記有機発光素子に接続しているスイッチング素子とを有することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 8】

前記スイッチング素子はチャンネル部に酸化物半導体を有することを特徴とする請求項 7 に記載の画像表示装置。

【請求項 9】

画像を表示するための表示部と、画像情報を入力するための入力部と、を有し、前記表示部が、請求項 7 または 8 に記載の画像表示装置であることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載の有機発光素子と、前記有機発光素子に接続しているスイッチング素子とを有することを特徴とする照明装置。

【請求項 11】

前記スイッチング素子はチャンネル部に酸化物半導体を有することを特徴とする請求項 10 に記載の照明装置。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載の有機発光素子と、前記有機発光素子に接続しているスイッチング素子とを有することを特徴とする露光装置。

【請求項 13】

前記スイッチング素子はチャンネル部に酸化物半導体を有することを特徴とする請求項 12 に記載の露光装置。

【請求項 14】

請求項 12 または 13 に記載の露光装置と、前記露光装置に露光される感光体とを有することを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の有機発光素子は、一対の電極と、前記一対の電極の間に配置されている有機化合物層とを有する有機発光素子であって、前記有機化合物層のうち少なくとも一層は、下記一般式 [1] で示されるリチウム錯体化合物を含有することを特徴とする。